

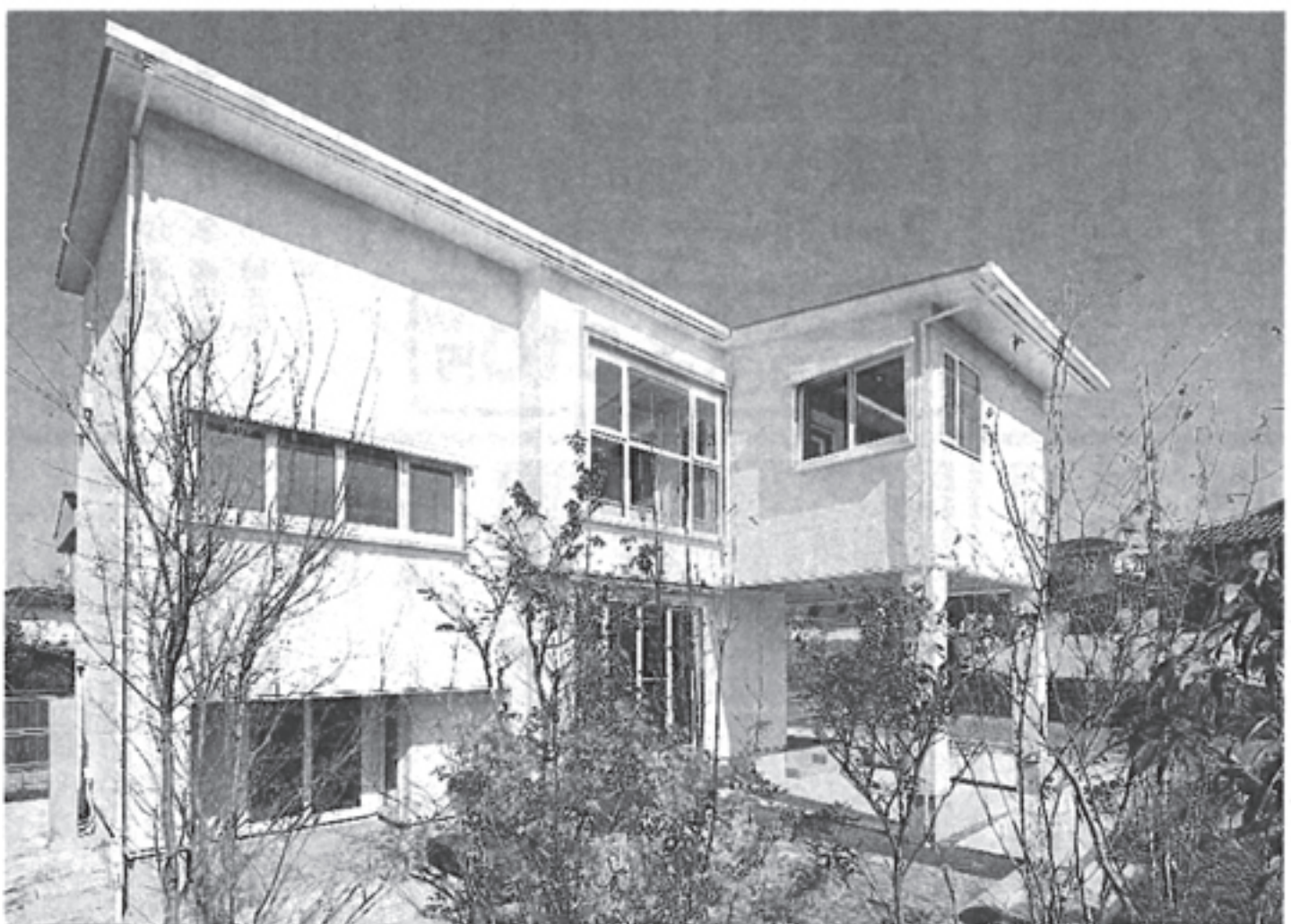
省エネ性能優れた住宅

アイ・ホーム(宮崎市)大賞

注文住宅施工を手掛けるアイ・ホーム(宮崎市佐土原町)の「森の住まいA-ZERO」が、省エネルギー性能の優れた住宅を表彰するハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2015(日本地域開発センター主催)で大賞を受賞した。大賞は今回の審査対象180棟のうち2棟のみ。田村寛治社長は「省エネ性能ナンバーワンであることが公的に認められた」と、さらなる普及へ意気込みをみせている。ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジーは、床や壁、梁(はり)など建物の構造を支える骨組みとエネルギー設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能に優れた住宅を表彰する制度。省エネルギー性能値、多様な省エネルギー手法の導入、省エネルギー住宅の普及への取り組みの三つの視点で審査した。森の住まいA-ZEROは、熱交換率の高い換気システムと高効率エアコン1台で構成する「マツハシシステム」を導入し、快適な温熱環境を整える全館空調を

低コスト全館空調評価

低コストで実現。さらに、さまざまな施工技術を持つ自社人材を育成することで施工コストを縮減し、同住宅の普及に努める。また、室内の温度や湿度、電気代などのデータをスマートフォンやタブレット端末で「見える化」するアプリを自社開発。居住者の健康を維持・増進する工夫も施している。九州内の企業と連携し、国土交通省の地域型住宅グリーン化事業による省エネ住宅普及促進にも取り組む同社。田村社長は「省エネ



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2015で大賞に選ばれたアイ・ホーム「森の住まいA-ZERO」の外観

化、快適性だけでなく防犯も提供していきたい」と話している。同社の「森の住まいA-ZERO」も特別優秀賞を受賞。表彰式は31日、東京で行われる。(鬼東功一)